



幸田プレステージレクチャーズ への想い

幸田町長 成瀬 敦

日頃より町政の運営に対し、多大なるご理解とご協力を賜り心から御礼申し上げます。

幸田プレステージレクチャーズ—ものづくり日本講演会—は、平成25年3月19日第1回に始まり、現在まで20回の歴史を刻むことができました。これまでに快く講演をお引き受けくださった20人の講師の皆様、そして、この講師の方々と幸田町を結び付けてくださった名古屋大学特任教授の原邦彦先生に心から感謝を申し上げます。

この講演会は、世界を震撼させる技術を開発されたトップ技術者や世界経済に大きな影響を与えておられるトップ経営者の皆様に、自らのご経験をもとに革新的技術や企業の経営哲学などをお話しいただくことで、参加された皆様に広い視野をもって地域や日本の将来を考えていただく機会としたいという思いの下で開催してきました。

幸田町は、製造品出荷額が1兆円を超える有数の「ものづくり産業」のまちです。しかし、グローバル化や技術革新などにより、めまぐるしく顧客ニーズも変わる中、今後も安定した地域経済を継続していくためには、本町の経済の核となっている「ものづくり産業」を持続的に発展させていくことが必要不可欠となってきます。様々な工夫を企業や大学、自治体が連携し実施していくことで、本町、さらには、この地域の活力を見出していきたいと思っています。

普段お目にかかることの大変難しい講師の皆様

方の世界トップレベルの貴重な講演に参加された方々は20回で延べ6,722人にも達し、今までに経験されたことのない驚きと感動を感じていただいたことと思います。

特に、第11回のノーベル物理学賞を受賞された名古屋大学未来材料・システム研究所未来エレクトロニクス集積研究センター センター長・教授の天野浩先生、第17回の東京理科大学栄誉教授の藤嶋昭先生等のご講演の際には中高生の方も延べ689人が聴講参加されており、将来の夢や希望につながり、これからの未来を描く貴重な機会となったのではないかと思います。

原邦彦先生をはじめ関係の皆様方のご理解とご協力により、このような貴重な講演会を幸田町として開催できましたことに心から感謝いたしますとともに、これを機会に幸田町への関心を高めていただくきっかけづくりとして、今後の企業立地や新産業創造、さらには幸田町の未来を託す人材育成に生かしていけたらと考えております。

コロナ禍により生活様式も変化する中ではありますが、今後も幸田プレステージレクチャーズが産官学連携の一環として引き継がれ、参加された皆様が、「幸せのまち幸田町」から明日へつながる何かを感じ、実践していただけるきっかけとなりますことを心から祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。